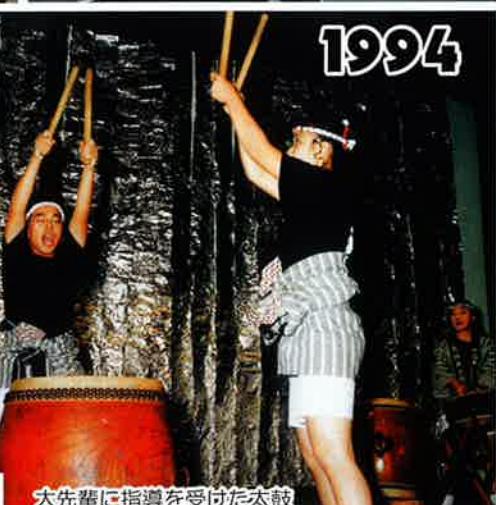


行
佐伯鶴城同窓会
長
編
廣報委員会
集
印刷
印刷
(有)岡沢



高校卒業以来昭和42年の
Uターン移住をいたしました。
それまでも益々
した。それまでも益々
や家族親戚の節目に私は短
期の帰省をしていました
が、今回、鶴岡町に同郷
で、同窓である妻とともに
転入しました▼東京、京
都、宮崎、大阪、東京、京
都、宮崎、東京と転任の多い
人生でしたが、どこに転
居しても鶴城OBがいら
して、公私にわたりご支
援いただいたことは、鶴
城卒業生で良かったと思
うと共に佐伯鶴城OBの誇りをもつ
事が出来ました▼帰郷以来、震度5
強、台風、数十年に一度の酷暑、台
風18号の大雨と矢継ぎ早やに自然の
手荒い歓迎を受けていますが、温か
い人情、友情、豊かな自然の恵みに樂し
いことがあります。特に佐伯市は
10年前の大合併で九州一の広さを有
する広域都市となっています。その
ため、地名や学校名なども新しくな
ったところも多く「えつ。佐伯にそ
んな所あつたの?」と戸惑うことも
多いのです▼先日、久しぶりに城山
まで散歩に出かけました。山頂から
の息をのむ絶景は健在で、初秋の清
澄な空気の中、祖母、傾山から四国
までの眺めを、「鶴城校歌」を囁きな
がら、心から堪能しました。故郷を
室生犀星のように「帰るところにあ
るまじや」と嘆じるのか、石川啄
木のようになれるのか、石川啄
木といふ心から願つております▼あり
かりませんが、今後の佐伯生活を心わ
かに、楽しくすごしたいと誓つてお
ります。最後に、妻が「私がどつ
いいます。最後に、妻が「私がどつ
いておきます。42年振りの帰郷だ。
おりまつことを記しておきます。



馬場の松



熱心に語ってくれる先生方

津久見も含む13中学校区に出向き、約2ヶ月間にわたって開かれます。（7月下旬～9月中旬）

主催は、佐伯鶴城高校PTA教育環境部です。その名前どおり、校長先生自らが、オリジナルのスライドを用いて、学校の様子や進学状況の説明をして下さいます。その後に、教科ごとに先生方から入試にむけてのアドバイスがあり、中学生一人ひとりにわかりやすく指導してくれます。

- ①中學生の保護者
 - ・学校での1日の流れがよくわかりました。
 - ・説明を聞いた後では、鶴城の印象が変わりました。
 - ・校長先生の話がわかりやすくて、来てよかったです。
- ②中學生
 - ・受験のアドバイスが具体的でした。
 - ・この中學の先輩の姿が見られて、うれしかった。
 - ・友だちを誘えればよかったです。

今年参加された方からの声です。
(アンケートより抜粋)

佐伯鶴城高校のPTA活動の大きな柱の一つである「校長と語る会」をご存知ですか？鶴城の現状を主に、中学生とその保護者に伝えるのが目的で、約12年前から始まりました。同窓生も参加しています。

「子どもさんを安心して鶴城へ」



スライドでわかりやすく説明

PTA会長の久々宮克也氏にお話を伺いました。「今年も無事に終えることができて感謝しています。大先輩である同窓会役員のみなさまが各会場に必ず出席して下さり、一言添えて頂いたことはとても心強かったです。」

又、元PTA会長の工藤義雄氏は「前任の原田会長からの取り組みを受け継いで、当時の丹生校長の並々ならぬ熱意で動いていきました。最初は、輪にな

今後も開催されます。どちらも参加できますので詳しくはホームページをご覧になつて下さい。

PTA会長の久々宮克也氏によると、「子どもさんを安心して鶴城へ進学させて下さい」との、校長先生の力強いメッセージに、どの会場からも拍手が起こったことに同窓生として、とてもうれしく、頬もしく感じました。

③佐伯鶴城は同窓会のバッカアップがすごい。ということが話題の中に必ず出て



SSHのロゴマーク



「県南の雄」
校賀志 長信幸

真帆片帆

きます。そして、それは実際に本校に赴任してさらに強く感じることでもあります。同窓会のみなさまからは、金銭面でおおきなご支援をいただきおり、生徒の進路希望の達成等の目的に使わせていただいておりまます。さらに、佐伯市の中でも、「佐伯鶴城高校」にかける感情には特別なものがあると感じています。さま、こんなちは。今年度着任しました志賀です。みなさまには、大きなご支援をいただきていること、感謝の念に堪えません。さて、佐伯鶴城高校に赴任して半年がたちました。昨年までは佐伯鶴城高校を外から見てきましたが、「鶴城は本当にいい学校だ」という評判をずっと耳にしてきました。その内容はもちろん「県南の雄」としてこれからもしっかりと実践していく。そのためには、佐伯鶴城高校が「県南の雄」としてこれからも輝き続けるようがんばつて定されました。この事業をからSSH（スーパーサイエンスハイスクール）に指定されました。この事業を有効に活用しながら、また先輩方のご支援をいただきながら、佐伯鶴城高校が「県南の雄」としてこれからもいく所存です。これからも変わらぬご支援、どうぞよろしくお願ひいたします。

月 26 日（木）開催されました。

高校8回生傘寿祝同窓会が108歳であることから米寿のお祝いを兼ねたものとなりました。今回の同窓会は、卒業生の皆さん

平成29年10月28日（土）に佐伯鶴城高校の前身である佐伯中学校の33回生（昭和21年卒）、34回生（昭和22年卒）の同窓会がありました。今回の

傘
寿

米
寿

同窓会だより
あちこち

中山正竹氏、日本代表（侍ジャパン）強化本部長に

佐伯市総合運動公園に11日、日本野球機構（NPB）から、投球練習用の壁「ベースウォール」が贈られた。NPBが全国47都道府県に順次設置しており、県内は佐伯市が選ばれた。同公園で寄贈式があり、野球殿堂入りを果たした市出身の中山正竹さん（70）＝豊の国かばす特命大使＝が駆け付け、完成を祝った。

寄贈はプロ野球発足80周年を迎えた2014年にスタートした「NPB未来の侍プロジェクト」の一環。子どもたちの野球への関心を高めるきっかけにしようと、全国47都道府県に各1基ずつを目標に設置を進めている。

壁は同公園内の佐伯球場外に設置。高さ2.3メートル、長さ6メートルのコンクリート製で、バッターのシルエットやストライクゾーンの目安となる枠が描かれている。

寄贈式にはNPBの平田稔野球振興室長や中山さん、地元の少年野球チームの子どもたちなど約100人が出席。平田室長が土崎谷夫教育長に記念プレートを手渡し、関係者でテープカットをして設置を喜んだ。

全日本野球協会副会長で、2020年に向けた日本代表（侍ジャパン）強化本部長。子どもたちを前に「壁を使ってたくさん練習して、佐伯から侍ジャパンの中心選手が生まれることを願っている」とあいさつし、ベースウォールを使った投球を披露した。

子どもたちの代表3人による始球式もあり、市学童野球選抜チームの矢野空翔（かいと）君（6年）が「たくさん練習して、将来は（プロ野球の）ドラフト指名を受けられるような選手になりたい」と決意を述べた。



子どもたちが見守る中、投球を披露する中山正竹氏

14時には佐伯鶴城高校にて母校見学を希望者のみ18名来校されました。（参加者61名）

平成29年10月28日（土）佐伯鶴城高校18回生、古希同窓会が行われました（93名出席）

古
希

高校18回生古希同窓会



又、連絡下さい。会報を用意させて頂きます。
せで、頂きます。
て頂きます。
ます。
さればホ
ームペ
ージに掲
載さ



平成29年9月10日（日）
ホテル「ホップイン」アミング
特別公演：4代目桂塙鯛師匠による
落語「妻の旅行」

平成29年度
関西佐伯鶴城同窓会総会・懇親会



平成29年5月13日（土）
ホテル「ヨーロッパ」イン東京
懇親会（新上京者歓迎会）

関東佐伯鶴城同窓会定期総会
懇親会（新上京者歓迎会）



独歩もよく登った城山



10月19日（木）7限目、1年生
創生探究基礎（SSH）による学
校指定科目）科学的探究、講座
別発表会が各教室で行われま
した。各班のプレゼンテーション
後、先生と生徒が発表内容や研
究の過程、発表の態度等の観点
別に採点しました。今後の探
究活動に期待が高まります。

SSH
講座別発表会

ゆくて 健児の前途

ヘルシンキオリンピック銀メダリスト
谷川 稔治郎 鶴見丹賀浦出身
(高3回生)



今回は編集担当より谷川稟治郎さんに佐伯中学・佐伯第一高校時代の思い出をはじめ、今の生徒諸君に寄せる思いをお聞きしました。

Q. 中学・高校の思い出は?

A. 一番の思い出は、昭和20年3月に佐伯中学の入試結果を見るために佐伯に父親と行きました。その日は佐伯大空襲の日で中学の校舎も爆撃に会いました。丹賀からの通船も途絶え、命からがらで父親とともに丹賀浦まで道なき道を山越えで10時間かけて徒歩で帰宅したことです。当時の練習は毎日、空き腹を抱えて、朝食前に1時間、授業終了後は19時までの厳しいものでした。先輩や同級生の活躍もあり昭和22年には、全国中学水泳大会で全国2位、昭和24年・25年には全国高校選手権・水上大会(現在の全国高校総体)自由形個人競泳で連覇いたしました。昭和25年には高校として団体競技においても初の全国制覇を成し遂げることが出来ました。

Q. ヘルシンキ・オリンピック大会はいかがでしたか

A. 高校卒業後、日大へ進学しましたが、大学2年生の時に1952年ヘルシンキ・オリンピック大会の水泳・800メートルリレーの選手に選ばれました。当時は日本からヘルシンキまでKLM航空で「東京→沖縄→バンコク→パキスタン→イラン→ローマ→パリ→フランクフルト→ストックホルム」と5日間かけての移動でした。スエーデンでの合宿を経てヘルシンキに入ったわけですが、皆さまの支援で銀メダルを獲得できました。この時に佐伯の皆様から多大の饗別、激励金を頂戴したわけですが、

実は封も切らずに学校の水泳部に寄付させていただきました。そのため、どなたから頂いたかも、内容も分からず、今まで正式にお礼を申し述べることができませんでした。65年前のことですが、あらためて厚くお礼、申し上げます。

Q. 記憶に残る仕事は?

A. 大学を卒業後、製鉄会社に入社、営業や企画、特に新エネルギー開発に従事しました。水泳で培ってきた体力と、国際的な視野が役に立ったと思います。おかげさまで、プロジェクトリーダーとして地熱発電では「北海道・森町 岩手県・零石」国家石油備蓄基地計画の「上五島 北九州・白島」等を手掛けることができ、これらの施設が今も現役で活動していることです。実現は出来なかったのですが、「瀬戸内海の海水と日本海の海水の循環方法」としてサイフォンの原理を応用した兵庫県横断巨大パイプの建設です。完成すれば当時汚染が進んでいた瀬戸内海の再生、また発電にも利用できるというものでしたが、費用面から中断しました。

Q. 現在の鶴城生へ

A. ニュースや話題で佐伯鶴城の名前を聞くと、今でも大変誇らしく思います。最近では、平泳ぎの渡辺一平選手の活躍は目を見張るものがあり、いまから東京オリンピックでの活躍が待ち遠しい想いです。慢心せがむしゃらな姿勢で練習に、試合にまい進されたいと思います。最近は帰省する事も少なくなりましたが、数年前に佐伯市街を歩いていたところ、鶴城生らしき若者から「こんにちは!」の挨拶をたびたび受けます。心洗われる思いがしました。この挨拶は是非、継続していただきたい。相手の目を見て挨拶できることは世界に通じる早道です。ここより健闘を願います。

谷川先輩は現在は東京大学に隣接した閑静な住宅にお住まいで、ゴルフのプロのインストラクターとしてアマチュアのご指導に当たるなど、日々自適な生活です。街で背筋はまっすぐで白髪の素敵なおじさんを、見かけたら、それはひょっとすると谷川先輩かもしれません。

同窓会費はいつでも受け付けています。

同窓会費はこちらまで

年会費 3,000円

ただし、終身会費として、下記のような納め方もあります。

終身会費

(現在70歳から79歳の方は、20,000円)

(現在80歳以上の方は、10,000円)

会費は母校のために使わせていただいております。

○英検受験費用の補助 ○大学訪問交通費支援 ○「鶴城未来塾」(同窓生を講師にした講演会)の支援 ○リーダー育成奨学生 ○部活動の補助
○休日自主学習を指導する教職員に日当支援 ○予備校活用援助(特別講師の招聘、教師の研修・生徒派遣)等 ○会報の発行・送付



伊達孝明(高40回生)
吉田裕作先生に捧げる(

た。當時は、サボりたいと思うことはありました。この場所に立ち、改めて高校時代は特別で、永遠だということです。吉田裕作先生に捧げる(

た。當時は、サボりたいと思うことはありません。この場所に立ち、改めて高校時代は特別で、永遠だ

た。最近部活の同窓会があり、先輩方の希望で、この体育館でバレーをしました。当時のユニークな所でした。所属していた部活を教えていままで、トイレなどは何も変わっていません。体育館はほとんど当時のままで、トイレなどは何も変わつ



技と練り文を練る

■佐伯鶴城同窓会
<http://kakujo.com/>

■関東佐伯鶴城同窓会
<http://www.kanto-kakujo.net/index.html>

■関西佐伯鶴城同窓会
<http://www.ac.auone-net.jp/kakujo/>

■おおいた佐伯鶴城同窓会

詳しくはホームページをご覧になって下さい。